

な～に谷っ戸ん田 5年目の33回目 話し合い&大豆の移動ー

と き： 平成23年12月3日(土) 9:30～15:30

ところ： テツさん納屋・谷っ戸ん田・納屋手前のビニールハウス

天 気： 雨のち晴れ

参加者： 石田+ヒデ、磯(午前)、梅下(母+日菜子+浩太郎+裕二郎)、加藤、霧生、久保、佐々木母、高田夫(午前)、高田マドンナ、藤田、松下、大11+小4 計15名

活 動：

【午前】

・雨が強く降っており、屋外での作業はきびしい。じゃがいもの分配やら里芋・さつまいもの分配やら、納屋の整理・整頓を中心に活動しようかと思っていたところ、園主が登場。作業の進め方について相談する。雨の中、大豆をハウスに移動するか、現場でさやをしごいて豆を取り出すか、日曜に作業をするか、などいくつかの案が提示される。結果、午前中は今後の活動について話し合い、午後雨が止んだら作業することになった。たたみひもで大束にして移動した方が効率がよいとの園主のアドバイスもあった。

話し合いの内容

当面の活動予定

その1 12月24日(土)餅つきについて：担当(松本・霧生)

当日必要なものは別途指示あり。

23日の準備、集合時間・集まれる人・持ち寄る道具なども連絡指示。

同日に味噌の分配も行う。担当(佐々木・藤田)

その2 今年度の味噌作りは1月以降。道具類はどうするか。

その3 キムチは白菜の収穫が難しいのでカクテキに変更。1月以降。

その4 沢庵については園主の意向を待つ。

来年度の活動

合意事項

・1月28日(土)総会を行う

総会では、「各班の反省と来年度の課題・方向性。班体制の入れ替え」を話し合う。

したがって、それまでに各班で話し合い、1/28に内容を報告できるようにしておく。

・来年度から横浜市からテツさんへの補助金(約7万円)がなくなる。その関係で、な～に谷っ戸ん田からテツさんへの支払額が多くなることも想定されるが、その場合、現在の預金残高(横浜市から別の補助金をテツさんに支払っているが、活動主体であるな～に谷っ戸ん田へテツさんが拠出してくれたものがほとんどを占める)から支出し、会費の増額は行わない。

*高田が森さんに、補助金がなくなった後の対応を問い合わせることになりました。

その他の主な意見

堀の内畑をどうするか。テツさんの畑を貸していただけるのか。テツさんの意向は。

大場さんの意向は。(久保さんがテツさんの意向を確認したが、かなり厳しい意見が出された様子。メンバーが自戒すべき点多そう。後日紹介されるでしょう)*大場さんには石田さんから「来年やめたらどうなの」的な話をする予定

来年度の区画は。石田さんが来年は一人で区画を持ちたい意向を示す。

*グリーンはどうするのかを石田さんから問い合わせる予定。

田んぼに低農薬散布を考え、省力化したらどうか。磯さんから「もっと田んぼを増やしたい。そのためには省力化が必要ではないか」との提案あり。「草取りが大好きだあ」「子どもが安心して田んぼに入れるように」「現状では無農薬でやれる」などの意見が出される。増収・省力化は今後検討していく課題かも。

【昼食】

各自、お弁当。雨がようやく上がり、明るくなる。

【午後】

- ・休憩後、田んぼに向かう。このところの雨で大豆がふやけて田んぼの水たまりのあちこちにこぼれている。悲しい。さやから今にも落ちそうなものも多い。シートを畦に敷いて、その上で2×5束ずつひとまとめに束ね、たたみひも(たたみのへりの布)でしばる。約30の大束ができた。
- ・園主の軽トラでビニールハウスに運ぶ。三往復で完了。ビニールハウスにシートを敷き、小さい束を乾燥しやすいように立てて並べる。田んぼの後かたづけも同時進行。作業終了は2時半。
- ・さつまいも・里芋を各自持ち帰り。ジャガイモは500グラムずつ。納屋の清掃後、解散。

次回の予定 12月10日(土)9時30分～ 大豆の脱穀？

記録・加藤 彰